

教育目標「まわりにやさしさ じぶんにつよさ ～笑顔ここから 豊栄南小～」



学校だより

令和6年3月15日
豊栄南小学校第446号
題字 小黒五稜先生

ウェルビーイングを目指して

校長 小林淳英

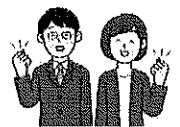
3月は別れの季節だと言われます。閉校間近になり、学校全体に「愛」と「感謝」と「誇り」とともにどことなく名残惜しくて寂しい雰囲気が漂う中、学校を閉じる準備が大詰めを迎えています。

振り返ってみると、2年ほど前に地域で閉校が決断され、その後、地域やPTAの代表の皆様をはじめとした実行委員会で、閉校・統合について何度も会議を重ねて話し合いや準備が進められました。そして、閉校記念行事等の様々な取組も滞りなく実施することができ、教育活動をはじめとする学校運営も無事ここまで進めることができました。ありがたく思っています。豊栄南小学校は閉校を迎えますが、たとえ学校が無くなろうとも、閉校記念碑に刻まれた「まわりにやさしさ じぶんにつよさ」を礎にした子どもたちのまっすぐな姿が今後も引き継がれて行くことを当校最後の校長として願ってやみません。

また、別れと同時に「出会いの春」や「希望の春」とも言います。子どもたちや地域・保護者の皆様にとって、そして私たち教職員にとっても「新しい歩みの春」になります。新しく希望に満ちた環境が待ち構えています。子どもたちには、4月から新しい学校生活を楽しんでほしいと思いますし、地域・保護者の皆様にもお子さんの成長を楽しみながら前向きに歩んでいただきたいと心から願っています。

最近、私は「ウェルビーイング」という言葉をよく耳にします。耳慣れない言葉と思う方もいるかもしれませんが。ウェルビーイング (Well-being) は、「良い (Well)」と「状態 (Being)」が合わさり「よい状態」「満たされた状態」のことを言います。「身体的・精神的に健康な状態、社会的・経済的にも良好で満たされた状態」を意味します。世の中では、「個人」・「経営」・「社会」・「教育」等の様々な分野でウェルビーイングに関心が向けられ、その向上にかかわる工夫や取組が始まっています。

「よい状態」「満たされた状態」は、人によって差があります。満足度が三者三様だからです。そして、達成に向かおうとする手段・方法・立場・環境も人によって様々です。100人いれば100人とも違ったウェルビーイングがあり、違った歩みがあるのです。また、ウェルビーイングの達成に向けて励む過程でも満足を感じることはあります。「ウェルビーイングは、幸福や満足を感じて生きること」と言う人もいます。健康を保ち、夢や理想の将来像に向かって生きがいや喜びを感じながら前向きに歩みを進めることもウェルビーイングにつながると考えます。



今後は、誰もが自分なりのウェルビーイングを目指し、一人一人の違った多様な人生の歩み方を認める「みんなちがってみんないい」の概念が今以上に一般的になり、その生き方を支援する社会になっていくことでしょう。子どもたちには、ぜひ夢や理想の将来像に向かって前向きに生き、豊かな人生を歩む中で充実した未来や社会を築いてほしいと願っています。また、子どもたちをはじめ地域・保護者の皆様にとっても、ウェルビーイングのある豊かな人生を歩むことができるよう祈っています。

最後に、これまでの当校へのご理解とご尽力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

《スクールバス プレ登校》

令和6年度から運行予定のスクールバスを使ったプレ登校を3月7日(木)に行いました。停留所ごとに決められた時間に集合し、実際にスクールバスを使って葛塚小学校に登校しました。停留所では、自治会や保護者の方々から見守っていただき、安全に運行することができました。また、それぞれのバスには豊栄南小学校の職員と北区教育支援センターの方も分乗し運行の様子を確認しました。葛塚小学校へ到着すると葛塚小学校での学校生活についての説明がありました。最初は緊張した面持ちの子どもたちでしたが、実際に体験することで4月からの学校生活がイメージでき安心したようでした。

停留所では、たくさんの方に見守っていただきました。



おはようございます!と元気なあいさつができました。



バスの中では、静かに乗ることができました。



葛塚小学校に到着すると校長先生が
出迎えてくださいました。

葛塚小学校の児童子どもたちと
一緒に学校に入りました。

2便も到着し、全員に登校すると葛塚
小学校の先生方から学校生活について
の説明がありました。持ち物や校内で
のきまりについて、お話を聞きました。



入賞おめでとう!

青少年読書感想文全国コンクール 優秀賞 5年

新潟県硬筆書き初め大会 準特選 1年